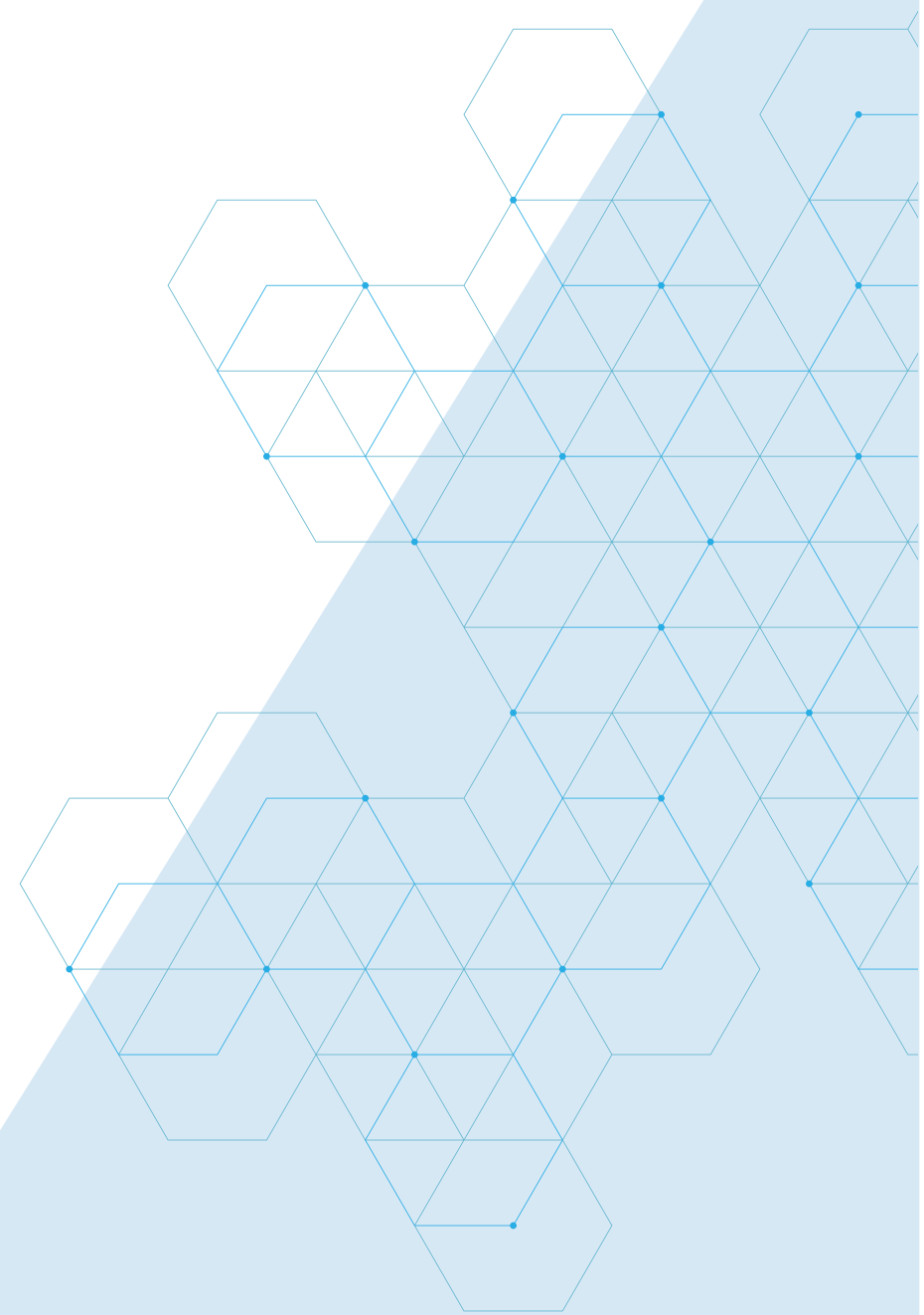


強力な一体型ビデオ会議バーで 会議体験を変革

フロスト&サリバン ビジュアルホワイトペーパー
LOGICOOL提供

目次

- 3** ビデオファーストの企業の登場—デバイスの選択肢が拡大
- 4** インテリジェントな会議室ソリューションの登場
- 5** 一体型ビデオ会議バーの台頭
- 6** 究極のオーナー体験
 - 7** 大規模環境でのシンプルさ
 - 8** 自由にコラボレーションできる柔軟性
 - 9** 実用的なインサイトを活用した管理機能
- 11** 注目のソリューション:ロジクール
- 12** 組織に最適な選択を



ビデオファーストの企業の登場ーデバイスの選択肢が拡大

ハイブリッド型の働き方が新たに登場したことにより労働環境が急速に分散し、あたかも対面で意思疎通しているかのようなクラス最高レベルのコミュニケーション手段が必要とされています。チームチャット、ビデオ、コンテンツ共有機能を利用したコラボレーションは、新しい働き方にとって極めて重要になっています。

コロナ禍によってビデオ会議の使用率は前年より400%急増しました。多くの組織が、全社規模でビデオ会議を導入する準備を整えると、選択肢があまりに多すぎることに気づきます。ビデオ会議の急激な増加によって、会議室用デバイスも増え続けることになりました。選択肢が増えることはテクノロジーの購買担当者にとっては素晴らしいことですが、各組織に最適なソリューションを選択するには多様なオプションを慎重に評価しなければならないということでもあります。

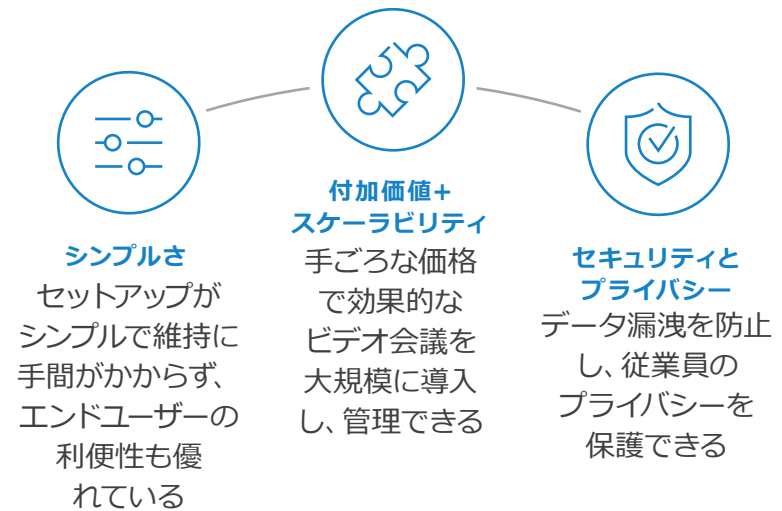
テクノロジーを慎重に選択して会議室を設計すれば、IT部門は、導入と管理が容易なビデオ会議ソリューションを実装できます。また従業員は、自然で簡単な生産的会議を開催できるようになります。そのため、**会議スペースと用途に最適なデバイスを選択したいというニーズ**が増えています。

ビデオ会議が主なコミュニケーション手段になるにつれ、シンプルさ、管理の容易さ、制御機能に対するニーズはこれまでに大きく大きくなっています。**一体型ビデオ会議バー**という新たなカテゴリーが急激に登場し、ITの購買担当者とエンドユーザーを引き付けるフォームファクターになっています。

ビデオ会議はビジネスに必要不可欠

新型コロナウイルスの感染拡大後、ビデオ会議は世界中の従業員の3人に1人が必要とする最優先の投資対象です。

IT部門の要件



ユーザーのニーズ



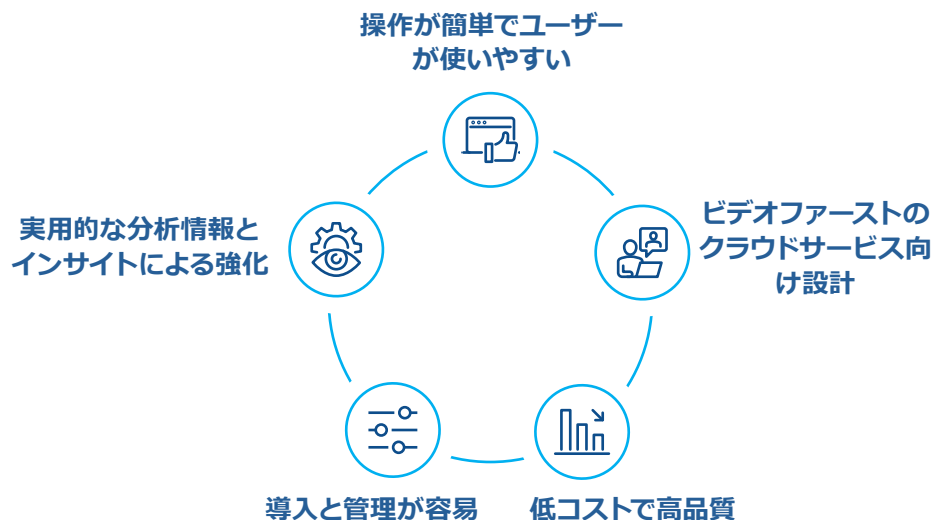
出典: Barco Global Survey, 2020年10月, Frost & Sullivan。

インテリジェントな会議室ソリューションの登場

事業の継続性、俊敏性、生産性を推進するため、組織は急速にクラウドを利用したコミュニケーション手段に移行しつつあります。**ビデオ会議クラウドサービスへの投資を増やすことは、インテリジェントでアジャイルなソリューションの力を真に生かす、クラス最高レベルのエンドポイントへの投資と合わせて行う必要があります。**

これまで企業がビデオ会議を導入しようとする、実際には拡張できない複数のコンポーネントを組み合わせるモジュール式アプローチを選ぶか、柔軟性に欠けた高価で複雑な専用エンドポイントを購入するかのどちらかしかなかった。ビデオをさまざまな会議スペースに拡張しつつある企業は、現在の高度な技術を装備しているだけでなく、急速に拡大しているIT部門とユーザーの多様なニーズを満たすように設計された、最新のデバイスに新たに目を向ける必要があります。

現在のビデオ会議デバイスに求められる要件は次のとおりです。



これまでの常識をくつがえすイノベーションによって現代の会議体験を変革

- ワンクリックで簡単に参加可能なタッチコントローラー
- 有線とワイヤレスでシームレスに実現できるコンテンツ共有
- ビームフォーミング式マイクとHiFiスピーカーによる心地良いクリアな音声
- 4K Ultra-HDの鮮明な画像と自動フレーミング機能による実物を見ているような映像
- 音声と映像を最適化するインテリジェント照明と音声センサー
- クラウドベースで一元化された管理機能とモニタリング機能
- プラグアンドプレイで簡単に導入でき、効率的に管理できる配線ですっきり設置可能
- ビデオ対応ワークフローと他システム連携を実現するAPI
- 音声認識コマンド、周囲の環境に適応した音声、背景雑音抑制機能、コンピューター画像認識による人物検出、実用的な会議室分析機能などを備えたAI活用会議室

一体型ビデオ会議バーの台頭 コンパクトな専用フォームファクターに強力な機能を統合

マルチベンダーのコンポーネントを活用して自らソリューションを構築する方式は、一見低コストで柔軟性に優れているように思われるかもしれませんが、その方式を選択すると、IT部門は、標準化された方法で中央から一貫してアセットを管理することはできず、調達や設置も複雑になります。さらにこの方式では、会議室に複数の参加者がいることを想定しているのではなく、主にノートPCを利用する単一ユーザーを想定して設計されたアプリケーションを使用する場合、ユーザー体験が劣る可能性があります。多くのコンポーネントがあると一元的に管理してサポートすることができないため、ノートPCを会議室に持ち込んで会議に接続するユーザーは、利便性の問題を感じるが多くなります。

IT部門は、複数の会議室や拠点で利用するソリューションを購入、設置、利用、管理する際の利便性に焦点を当てた、長期的に対応可能な方法を求めています。そこで、必要なハードウェアとソフトウェアを一つのフォームファクターに統合した、次世代の一体型ビデオ会議バーが活用される傾向が高まっています。真の一体型設計では、カメラ、組み込みソフトウェア、スピーカー、マイクロフォンが1つのターンキー式デバイスに統合されています。



一体型で流線形のフォームファクターは、シンプルですっきりとしたビデオ会議を実現します。必要なソフトウェア、ハードウェア、クラウドサービスへの接続機能が単一のデバイスに組み込まれているため、IT管理者にとっては最小限のケーブル配線で簡単に設置できるという利点があります。Zoom、Microsoft Teams、Google Meetなどとネイティブに統合したクラウドファーストのサポートにより、IT部門が選択したすべてのクラウドサービスと簡単に接続できます。



会議室の前方にデバイスがあって会議室のテーブルには何もないため、マイクがふさがれたり、参加者の不要な音が拾われたりすることがなく、音声とビデオが自然に調和します。さらに、背景雑音の抑制、発言者の検出、自動PTZ機能搭載電動レンズなどのクラス最高レベルの音声/ビデオ技術により、コラボレーション体験が強化されます。



コンピューティングアプライアンスが内蔵されているため、外部PCやMacを会議室に置く必要はありません。そのため、一元的に管理/制御できるだけでなく、購入して接続するコンポーネントが1つ少なくて済みます。また、ネイティブでソフトウェアが統合され、PCコンポーネントが不要になることで、初期設定が短時間で済み、デバイスの管理がシンプルになります。

究極のオーナー体験

一体型ビデオ会議バーを利用することで、調達から管理、利用に至るまですべてのプロセスが効率化されます。

すべてのコンポーネントを1つのデバイスにまとめたターンキー式アプローチによって、会議室が洗練されながら強化され、より優れたインテリジェンスや分析機能、管理制御機能を利用できます。

一体型ビデオバーは通常、複数のコンポーネントを統合するモジュール式アプローチよりも高価ですが、その**シンプルさ、利便性、管理の容易性**によって、大規模導入に最適なソリューションとして評価されています。一体型ビデオバーがあれば、IT部門は、さまざまな会議室に異なるコンポーネントを導入して維持する必要がなくなります。

1

大規模環境での
シンプルさ

2

自由にコラボレーション
できる柔軟性

3

実用的なインサイトを
活用した管理機能

ビデオ会議を組織全体で導入する場合、IT部門が最も重視するのは、調達の容易さ、設置の速さ、総合管理機能です。

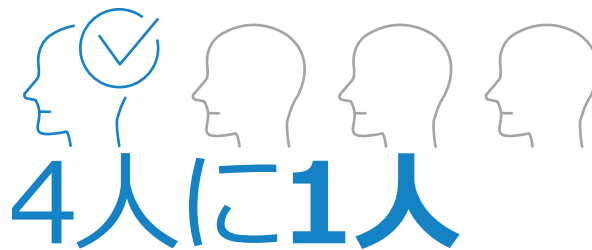
1 大規模環境でのシンプルさ

ビデオコラボレーションバーは調達と設置が簡単で、優れたユーザー体験によってチームのコラボレーションを促進します。

調達が容易 1つの製品を1つのテクノロジープロバイダーから調達できるため、発注プロセスがシンプルです。

設置が容易 コンポーネントは事前に設定されて設置面積も小さく、高価な専用機器や複雑な設定を必要とせずに、直感的にすぐに設置できます。

使用が容易 自動フレーミング、HiFi対応音声、実用的な分析情報とインサイトなど、AIで強化された音声/ビデオを利用してスマートな会議を実現できます。



ITに関する意思決定者とビジネスリーダーの4人に1人は、ビデオ会議ソリューションへの投資を評価する際に、**使いやすさと品質を主な懸念事項として**挙げています。

出典: End-User Priorities in Communications and Collaboration Investments, Frost & Sullivan, 2020年2月

2 自由にコラボレーションできる柔軟性

最新のビデオ会議バーは、さまざまな仕事のスタイルや用途に対応できるマルチモードで、柔軟性に優れ、カスタマイズ可能です。

ユーザーのための豊富なオプション BYODオプションやすべてのPCまたはMacで利用できるUSBプラグアンドプレイオプションが用意され、ZoomやMicrosoft Teamsなどのビデオ会議アプリケーションをネイティブに実行することもできます。

短時間で導入可能 標準化された方式で大規模環境を導入できるため、設定、設置、調整が短時間で可能です。

常に最新 更新プログラムはクラウドから自動的に配信されます。

調節可能 コントローラー、マイクポッド、スピーカー、ケーブル、補助用カメラなど、会議室や用途にぴったりフィットする、周辺機器の豊富なポートフォリオが揃っています。

ビデオ会議を利用している多くの組織が、IT部門が抱える主な懸念事項によって導入を制限しています。



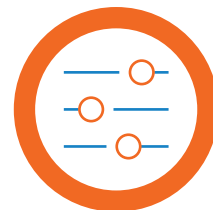
IT部門の主な課題



柔軟性



管理の容易さ



シンプルさ

出典: End-User Priorities in Communications and Collaboration Investments, Frost & Sullivan, 2020年2月

3 実用的なインサイトを活用した管理機能

ビデオ会議コラボレーションバーでは、必要なすべての音声/ビデオコンポーネントが1つのフォームファクターに組み込まれているため、IT部門はすべてのエンドポイントとソフトウェアを一元的にモニターして管理できます。


場所や時間を問わずに管理可能一元化されたウェブベースのポータルからハードウェアとソフトウェアをモニターして管理できます。さらに、「クラウドに依存しない管理機能」により、会議室で利用しているデバイスまたはクラウドプラットフォームに関係なく、すべての会議室を管理できます。

総合管理機能一体型アプライアンスは、多数のコンポーネントにパッチやアップデートを適用する必要がなく、同じポータルを使用してすべてのデバイス、ネイティブに統合されたクラウドサービス、スケジュール設定用のディスプレイ、会議室の予約やカレンダーとの連携機能を一元管理できます。

強化されたセキュリティデバイスが1つにまとめられて一元管理できるため、複数のコンポーネントにまたがるセキュリティ脅威が軽減します。

サポートコストの低減一体型デバイスは使いやすいため、IT部門の負担が軽減されます。ユーザーのトレーニングが短時間済み、ヘルプデスクへの問い合わせも減少します。

会議室に関するインサイトとインテリジェントな会議次世代のクラウドベース管理/モニタリング機能と組み合わせることで、IT部門は会議室とデバイスの使用状況について豊富なデータを入手でき、ビジネス部門はより生産的で効率的な会議を実施できるようになります。



3人に1人

ITに関する意思決定者とビジネスリーダーの3人に1人は、ビデオ会議ソリューションへの投資を評価する際に**管理に関する課題と統合の複雑さ**を主な懸念事項として挙げています。

出典: End-User Priorities in Communications and Collaboration Investments, Frost & Sullivan, 2020年2月

ビジネス部門とテクノロジー部門の
リーダーが最も重視しているのは、
組織全体で**より優れたチームワーク
とコラボレーションを推進**
できることです。

職場環境の抜本的な変革に備え、
テクノロジーを組織に深く浸透
させるためには、**シンプルさと優
れた制御機能**を追求する必要
があります。妥協せず、クラス最高
レベルのビデオ会議ソリューション
を求めるべきです。



注目のソリューション: ロジクール

次世代の一体型ビデオ会議バーにより、業界最先端の音声/ビデオを実現しながら導入をシンプル化

新しいLogicool Rally BarおよびRally Bar Miniは、インテリジェントな音声、ビデオ、コンテンツ共有機能を流線形のコンパクトなフォームファクターにまとめた一体型アプライアンスです。利用、管理、大規模導入が簡単な一体型デバイスは、クラス最高レベルの光学カメラ、自動PTZ機能搭載電動レンズ、高性能オーディオを備え、生産性の高い自然なビデオ会議を実現します。一体型フォームファクターのため、多数のコンポーネントの複雑な設置やサポートに要する追加コストが不要になり、投資利益率(ROI)が大幅に改善します。

RALLY BAR MINIとRALLY BAR すべての項目に対応

- ✓ 最高のビデオ品質を実現する Ultra HD 4Kカメラ
- ✓ 良質で自然なサウンドを実現する、超低ひずみスピーカー
- ✓ 会議に必要な機能の自動化: RightLight™による照明と色の最適化、RightSight™による自動フレーミング、RightSound™による雑音抑制、エコーキャンセレーション、自動レベリング
- ✓ AI活用光学カメラ: RightSense™テクノロジーおよびコンピューター画像認識専用の補助カメラ。AI Viewfinderが会議室全体を一貫してとらえ、人物を検出して自動フレーミング機能とカメラ制御機能に通知することで性能を向上
- ✓ 各会議室の人数測定機能とインサイト取得機能を含む、Logicool Syncを利用した、クラウドベースのリアルタイムモニタリング機能と管理機能。さらにSync用オープンAPIを利用することで、拡大するパートナーエコシステムが提供する、デバイスのモニタリング、管理、分析機能を一元的にクロスプラットフォームで実現可能
- ✓ BYODオプションやすべてのPCまたはMacで利用できるUSBプラグアンドプレイオプションをユーザーが自由に選択できる参加モード。専用の会議室用PCが不要で、ZoomやMicrosoft Teamsなどのネイティブなビデオ会議アプリケーションに対応したアプライアンスモードで実行可能
- ✓ 組み込みのケーブル管理機能と柔軟な設置オプションですっきりした会議室を実現

Rally Bar Mini



- 小規模会議室やハドルスペース向けの設計
- 機械式P/Tカメラで環境に適応。環境を変える必要はありません。

Rally Bar



- 中規模会議室向けの設計
- 機械式適応型PTZ機能、最大15倍ズーム

Rally Plus with RoomMate



- 大規模会議室向けの設計
- Logicool RoomMateと合わせて利用可能なアプライアンスモード

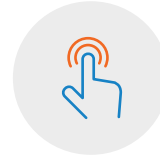
logicool

組織に最適な選択を



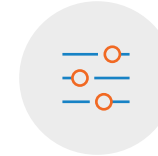
シンプルな導入

- ターンキー式デバイスにより導入時間が短縮され、すぐに利用可能
- コスト効率に優れたソリューションを職場全体に拡張可能
- 多数のコンポーネントが不要な一体型のコンパクトなフォームファクターで会議室がすっきり



シンプルな利用

- タッチするだけで参加できるビデオ会議の優れた操作性により、あたかも対面しているかのような自然なコミュニケーションを短時間で実現
- コラボレーションの価値が高まるコンテンツ共有を簡単に実現可能
- すべてのPCまたはMacとUSBで接続できるオプションから、組み込みのコンピューティングアプライアンスを使用するオプションまで、幅広い柔軟な参加オプションを用意



シンプルな管理

- デバイスと会議室のパフォーマンスを1つの画面から簡単にモニタリングして管理可能
- 業界トップクラスのクラウドサービスとネイティブに統合することで連携のメリットを活用
- 会議スペースと導入オプションのすべてのニーズに対応した幅広いソリューションを提供するテクノロジープロバイダーに投資
- 容易に統合可能なオープンAPIを備えたソリューションを追求

ロジクールの一体型ビデオコラボレーションバーの詳細情報

www.logicool.co.jp/vc >



成長パートナーシップ企業であるフロスト&サリバンは、顧客と連携して先見の明のあるイノベーションを活用し、今日の市場参入企業の成功を左右するグローバルな課題や関連する成長機会に取り組んでいます。50年以上にわたり、私たちはGlobal 1000、新興企業、公共部門、および投資コミュニティのための成長戦略を開発してきました。あなたの組織は、業界の集中、破壊的技術、ますます強まる競争の激しさ、メガトレンド、革新的なベストプラクティス、変化する顧客力学および新興国市場の次の大きな波に対する準備はできていますか？

許可に関する情報については、以下の宛先までご連絡ください。

Frost & Sullivan
3211 Scott Blvd
Santa Clara, CA 95054

SILICON VALLEY

3211 Scott Blvd
Santa Clara, CA 95054
電話 +1 650.475.4500

SAN ANTONIO

7550 West Interstate 10
Suite 400
San Antonio, TX 78229
電話 +1 210.348.1000

LONDON

566 Chiswick High Road
London W4 5YF
電話 +44 (0)20 8996 8500